

乳がんの早期発見のために

デジタルマンモグラフィ装置

当院では最新の検出器(フラットパネルディテクタ)を搭載した、デジタルマンモグラフィ装置を導入いたしました。

年々増加傾向にある女性の乳がんに対して、検診・精密検査用の撮影装置として使用しています。

乳房を圧迫しながらX線撮影を行うことで、均一で鮮明な画像が得られ、微小石灰化や腫瘍といった病変の早期発見が可能です。

詳しい検査内容は、医師またはスタッフまでお気軽にお尋ねください。



●キヤノンメディカルシステムズ製 デジタルマンモグラフィ装置

公益財団法人 丹後中央病院

最新のマンモグラフィ装置を導入しました。

早期発見のために、乳がん検診を受けましょう。



● 最新デジタル画像により、高画質な画像が得られます。

生体を透過したX線を受け取り、電気信号に変換することによってレントゲン写真(デジタル画像)を得る最新の検出器(フラットパネルディテクタ)であるため、高画質な画像が得られます。診断に適した画像により、早期乳がんの発見が可能です。

● 初めてでも安心して受診いただけるマンモグラフィ装置です。

受診される女性が触れる部分にはやさしいフォルムで丸みをおびた形状(ラウンドフォルム)のデザインを採用しております。高精度な圧力検出により圧迫速度が変化し、乳房に急激な圧力がかかることがないため、検査時の痛みを抑える工夫を施しております。

● 最新デジタル装置により、低線量で迅速な検査が受けられます。

フラットパネルディテクタは撮影した直後に画像が得られるため、従来装置よりも短時間で検査を終えることができます。さらに線量は東京からニューヨークへ飛行機で行く時に浴びる自然放射線(宇宙線)とほぼ同じ量であるため、安心して受診いただけます。

